

2023年（令和5年）
10月号・No.216

広報 よしか

吉賀町の人口・世帯数
（令和5年8月31日現在）
人口 5,744人（-15）
男 2,758人（-6）
女 2,986人（-9）
世帯数 3,033世帯（-9）
（）内は前月との比較

吉賀町成人式
（関連記事2ページ）

祝 成人おめでとう



水とすむまち
吉賀町

令和5年度成人式開催

令和5年8月15日、令和5年度吉賀町成人式を、六日市基幹集落センターを会場に開催しました。

今年度成人を祝ったのは、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの方で、36名が出席されました。

式典では岩本町長が、新成人の皆さんが生まれた頃の出来事に触れた後、一度しかない人生に悔いを残さないよう、持てる力を全て発揮して頂きたい、そして、そのために何をすべきか考える機会として、本日の成人式を捉えてほしいと述べられました。また、自己肯定感を高めてもらいたいということと、諦めない強い意志を持って頂きたいということを伝えられました。さらには他人と比較するのではなく、人と違うからこそその感性や、共感しあえる人との出会いを大切にしてほしいということと共に、洋々たる前途を祝福する思いを述べられました。

来賓代表の安永町議会議長からは、長い人生の最初の節目を迎えられた新成人へのお祝いの言葉と共に、ロシアによるウクライナ侵略にも言及されました。このことは、一人の権力者により起きた戦争という残虐行為であることと併せ、民主主義の大切さを考えてもらいたいと述べられました。そして、希望に満ち満ちた若い人たちが参加し、選挙により自分たちの生きる社会を作っていくことが、民主主義体制であること、参加することが住みよい社会を作ることにつながるため、諦めない、傍観者にならないでほしいということを伝えられました。

お二人の言葉を受け、新成人の代表として深川 心優（ふかがわ みひろ）さんが謝辞を述べられました。

深川さんはコロナ禍により、学校行事の規模縮小や活動が制限されてしまったこと、進学先でもオンライン授業によって同期との交流に制限があったことを伝えられました。しかし、そんな状況の中でも吉賀町での経験や地域の方の優しさや温かさが目標に向かって努力し続ける糧になったと、述べられました。最後に、看護師として吉賀町に帰ってくることで少しでも恩返しをしていきたいとの思いを言葉にされました。

新型コロナウイルス感染症の五類移行のため、今年度は式典後に吉賀町地域・人づくりコーディネーター檜谷 邦茂（ひのきだに くにしげ）さんによる記念講演を行いました。専業ではなく複業という働き方やご自身の人生を振り返りながら新成人へ講演されました。

記念講演後は記念写真を撮影し、解散となりましたが、参加された新成人の皆さんは、お互いの近況を語り合ったり、写真を撮り合ったり、友との再会のひとときを楽しんでおられました。

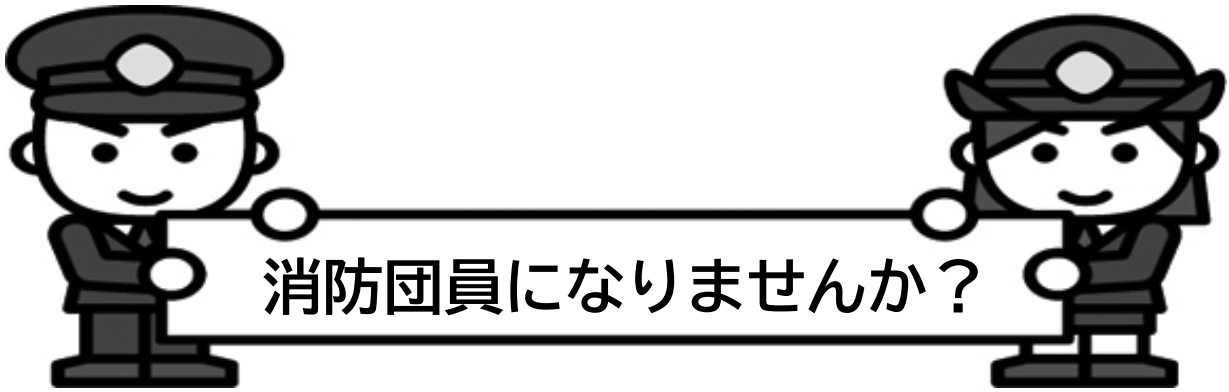


住民基本台帳の閲覧状況の公表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

住民基本台帳の閲覧状況について、関係法令の規定により次のとおり公表します。

○国または地方公共団体（住民基本台帳法第11条第3項に基づく公表分）

国または地方公共団体の機関の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲
島根県西部県民センター	島根県が行う、「小さな拠点づくり」に関するアンケートのため	令和4年6月28日	旧柿木村 令和4年6月28日時点で18歳以上の方
吉賀町保健福祉課	第2次健康長寿しまね推進計画に関する意識調査のため	令和4年6月25日	吉賀町全域 平成9年、昭和62年、52年、42年、32年、22年の1～5月生まれの方
島根県政策企画局統計調査課	令和4年就業構造基本調査の調査対象を抽出するため	令和4年7月1日	吉賀町全域 令和4年7月1日時点で住民の方
吉賀町産業課	吉賀町農業振興ビジョン策定業務に関するアンケートのため	令和4年7月7日	吉賀町全域 令和4年7月7日時点で住民の方
株式会社サーベイリサーチセンター	内閣官房より委託された、孤独・孤立の実態把握のための全国調査のため	令和4年10月7日	柿木、椋谷、福川地区 平成18年12月1日以前に生まれた方
益田保健所	令和4年度島根県民栄養調査のため	令和4年10月11日	広石地区 令和4年10月1日時点で20歳～84歳の方
吉賀町保健福祉課	第8期介護保険事業計画策定に係る高齢者ニーズ調査のため	令和4年11月16日	吉賀町全域 令和4年10月31日時点で65歳以上の方
吉賀町教育委員会	スポーツ活動に関するアンケート調査のため	令和5年1月7日	吉賀町全域 令和5年1月1日時点で20歳以上の方
自衛隊 島根地方協力本部	自衛官等の募集に伴う案内送付のため	令和5年1月19日	吉賀町全域 平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた日本人



消防団は市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

最近放映されたドラマでも言われていましたが、人口が少ない地域では、火災発生時や災害時には消防団が大きな力となります。

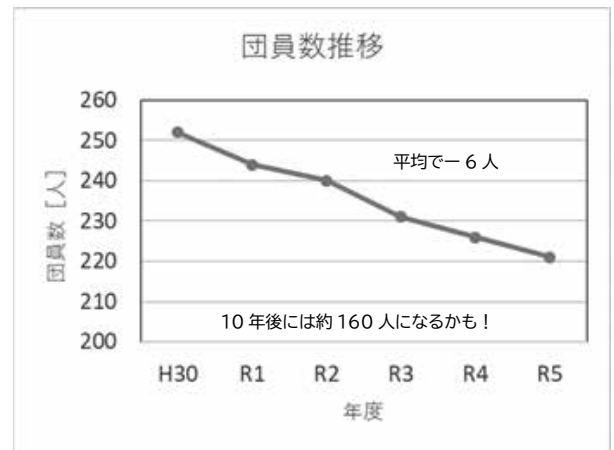
あなたの力を、地域を守る力に使ってみませんか？

◆消防団員数とその配置について

現在の吉賀町消防団は令和5年4月1日時点で、定員300人に対して、221人（内、女性消防団員19人）となっており、充足率が73.7%です。右の図の様に団員数は減少傾向にあり、5年間で31人も減ってしまいました。

吉賀町では8つの分団に分かれ、更に部を編成し19の地区を各消防団が担当して火災等に備えています。

消防団の配置人数が6人未満の地区が5つあり、徐々に活動に対する厳しさが増えています。



◆令和4年度の消防団の活動

火災による出動	6件	
警戒活動	6件	
広報活動	4件	※この他に機械器具の
訓練等	4件	点検を毎月行っています。



主な活動は上記のとおりですが、火災だけではなく、大雨の警戒や広報活動も行っています。令和4年度は大雨による越水の影響から土嚢積みなどの活動もありました。

いざという時には集合し多くの人が集まり行動できる、これが消防団の強みです。

◆令和5年度吉賀町消防団夏季訓練を実施

8月20日（日）に、大野原運動公園敷地内で吉賀町消防団の夏季訓練を実施しました。

今回の訓練は、団員延べ120人程度が参加しました。

訓練では、4つの分団が連携をして給水地点から放水地点までが550mにもなる連携送水訓練を行いました。



今回の訓練のポイントは川や防火水槽から水を給水する無圧水利と、消火栓やポンプから送水される圧力が掛かった水を給水する有圧水利では、機器の接続やポンプの操作方法が変わり難易度が高くなることです。また声の掛け合いや、無線を使用しながら情報伝達を行うことの大事さも学びました。



また、この日は女性消防団もポンプを使用した訓練を実施し、分遣所職員にポンプの操作や手信号について指導を受けていました。



吉賀町消防団では、このように訓練や取り組み、地域の安心、安全のために活動をしています。地域の防災力向上につながる消防団活動にあなたも参加してみませんか？

消防団に関するお問合せ・入団のお申し込みは

〒699-5513 島根県鹿足郡吉賀町六日市750番地
吉賀町役場総務課 消防担当
電話：0856-77-1111（代表） ファックス：0856-77-1891
E-mail：somu@town.yoshika.lg.jp

森師研修員 七日市公民館ワークショップに参加

町内の豊かな森林資源を守り活用する匠集団「森師研修員」の活動報告です。

8月2日、七日市公民館主催の「わくわくクラブ木材ワークショップ」に参加しました。

七日市小学校児童18名が集まり、ネームプレートや焼き印スタンプ、わくわくクラブの看板等を制作しました。児童は丸太を切る、釘を打つ、穴をあける、慣れない木工作业に悪戦苦闘しながらも、作業に没頭していました。

森師研修員も制作のサポートに回り、児童と交流を深めていました。普段は山の中で機械に乗り作業道を作ったり、伐倒等を行っており、普段と違う環境でリフレッシュにもなりました。

今回使用した木材は、町有林で生育したヒノキを使用し、建築端材も町内工務店から提供いただきました。町内の木材が流通・循環しながら、町民の皆さんが林業を身近に感じられるイベントを今後企画していきたいと思えます。



ハロウィンジャンボが発売中です！

ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円

(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



各1枚 300円

9月20日(水) 2種類同時発売!

発売期間 9/20(水)~10/20(金)

公益財団法人 島根県市町村振興協会

漬物を製造している事業者のみなさまへ

食品衛生法の改正により 漬物製造業 が新設されました。

今後、漬物を製造するためには、食品衛生法に基づく **営業許可** が必要になりますので、手続きについて最寄りの保健所にご相談ください。

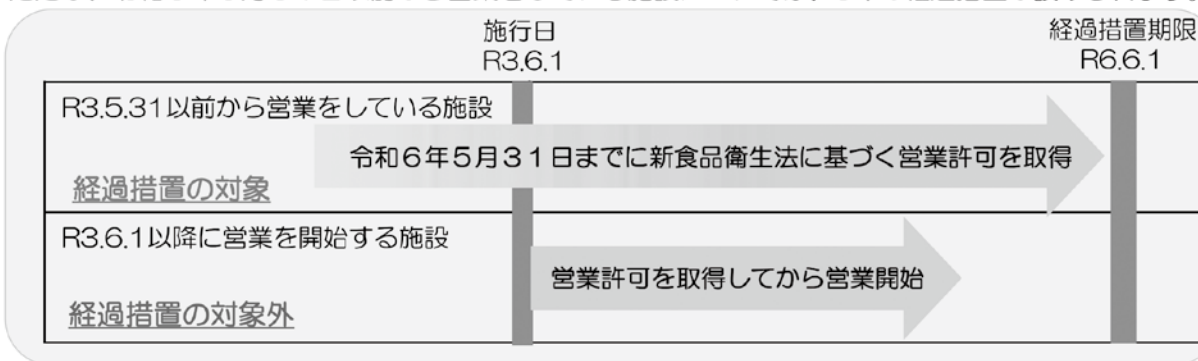
● 漬物製造業 とは

漬物を製造する営業または漬物と併せて漬物を主原料として調味加工した漬物加工品（※）を製造する営業をいいます。（※ 高菜漬を使用した高菜漬け炒め、味付けザーサイ、味付けメンマ等）



Q：いつから新しい制度が始まるの？

平成30年6月に食品衛生法が改正され、営業許可に関する内容は、令和3年6月1日に施行されます。ただし、令和3年5月31日以前から営業をしている施設については、3年の経過措置が設けられます。



● 食品衛生責任者の設置について

■食品衛生法の改正により、営業施設に食品衛生責任者の設置が規定されました。

◇食品衛生責任者は次のいずれかに該当する者でなければいけません。

- ・食品衛生監視員、または食品衛生管理者の資格要件を満たす者
- ・調理師、製菓衛生師、栄養士、船舶料理士 等
- ・都道府県知事等が行う講習会を受講した者



Q&Aにゃ！

Q：漬物を製造する際、以前保健所に届出を行いました。届出を行った場合でも漬物製造業の営業許可の取得は必要ですか。

A：令和3年6月1日以降、漬物の製造等の届出制度は廃止となります。事業を継続される場合は、経過措置期間内（令和6年5月31日まで）に漬物製造業の営業許可の取得が必要です。

Q：食品衛生責任者になるための講習会はどこで受講できますか。

A：講習会は県内各所で随時開催をしています。食品衛生責任者や講習会については島根県のホームページをご覧ください。



島根県 食品衛生責任者

検索

島根県観光キャラクター「しまねっこ」
島観連許諾第6322号

島 根 県

益田保健所 0856-31-9551

島根県益田県土整備事務所津和野土木事業所長要望

8月16日、岩本町長は、島根県益田県土整備事務所津和野土木事業所に河野事業所長を訪問し、町内の福川川柿木地内にある坂本頭首工について、アユの遡上を妨げていることに関して改修に向けた要望を行いました。

要望の内容については、近年の出水により坂本頭首工と河床との間に段差が生じ、アユの遡上を阻害している現状に対して、漁業振興における資源確保の視点から、頭首工の段差の解消に向けた改修工事の実施を要望しました。

それに対し、河野事業所長は、町の考えに理解を示すとともに、高津川漁協とも協議し、段差解消に向け迅速に対応する考えを示しました。



第1回吉賀町教育振興計画推進協議会の開催

8月24日に、第1回吉賀町教育振興計画推進協議会が開催されました。

中田教育長より各委員への委嘱状の交付が行われ、委員の互選により、会長に大庭克彦教育次長、副会長に山崎慎一体育協会会長が選出されました。

その後、今後のスケジュールと施策の検証方法について協議をしました。

委員は、社会教育委員の会、公民館、自治会、図書館、体育協会、小中学校、保護者及び教育委員会の各団体推薦による委員合計12名です。

会長、副会長以外の委員は次の方々です。(敬称略)

吉賀町社会教育委員 上山豊和 六日市公民館長 寺戸達志 朝倉公民館長 能美勝臣 自治会代表 朋澤智弘 自治会代表 米田銀次郎 吉賀町立図書館司書 藤井素子 吉賀中学校校長 福原裕之 六日市中学校PTA副会長 大石幸恵 柿木小学校校長 北野憲民 吉賀町PTA連合会会長 澄川洋平

第2回の推進協議会は、9月28日(木)午後6時30分から吉賀町六日市基幹集落センターで開催予定です。どなたでも傍聴できますので遠慮なくご来場願います。



～ 大学生交流2023夏！～

8月24日から28日にかけて、青山学院大学・法政大学・桜美林大学の三つの大学から、合計22名の学生が、吉賀町を訪問しました。この交流は、平成29年度から始まり、コロナ禍における中断期間を経て、昨年度より再開したものです。今年度は、昨年度よりパワーアップしたプログラムを実施することができました。

25日（金）は、吉賀高校の1年生と、「アントレプレナーシップ教育」の交流授業を行いました。7つのグループに分かれ、町内各地でフィールドワークを実施しました。その後、聞いた内容をまとめ、全員の前で発表しました。今後は、10月に行われる吉賀高校の東京研修で、再びフィールドワークを一緒に行います。再会できる日が楽しみです！



25日
吉賀町内フィールドワークの様子

26日（土）は「地元学」と題し、大学生が吉賀町で活躍する人々のもとでフィールドワークを行いました。普段、自分が住んでいる土地とは違う場所で過ごす人と触れ合い、自分の生き方を見つめ直す時間になったようでした。



26日「地元学」の様子

27日（日）は、榮泉寺を訪問し、座禅体験を行いました。午後からは、柿木地区の川で川遊びを行いました。残念ながら、途中で雨が降ってしまい、予定よりも早く川遊びを終えることとなってしまいました。しかし、普段体験できないことを体験でき、また吉賀町の豊かな自然に触れることができたのはかけがえのない思い出になったと思います。また、金曜日に交流した吉賀高校生も数名参加し、再び大学生と交流することができました。

大学生からは、「吉賀町の方からいただいた『みんな違ってみんないい』という言葉が大切にしたいと思いました。」「吉賀町の自然の豊かさに触れることができました。」「たくさん差し入れをもらうなど、人の温かさに触れることができました。」といった言葉をもらいました。

最後になりましたが、本事業に参加して下さったすべての方に、改めてお礼申し上げます。

環境情報 バイオマスプラスチックを使用した可燃ごみ袋を導入します！

吉賀町では、地球温暖化の防止に向けた温室効果ガス排出量の削減及び環境意識の向上を図るため、町指定可燃ごみ袋の原材料の一部を植物由来のバイオマスプラスチックを使用したものに変更します。

※従来のごみ袋は石油からごみ袋を製造していますが、今回導入するごみ袋はサトウキビやトウモロコシなどの植物由来の物質（バイオマスプラスチック）を原料とし、ごみ袋を製造しています。植物は光合成を行うときに二酸化炭素を吸収するため、バイオマスプラスチックを使用したごみ袋は、温室効果ガス排出量を削減することができるといえます。

○新しいごみ袋の変更点

- ①バイオマスプラスチックを25%使用しています。
- ②「一般社団法人日本有機資源協会」の認証を得たバイオマスマークを表示しています。
- ③ごみ袋への印字は、外国籍の方に伝わりやすいよう配慮した表記にしています。
- ④ごみ袋の表面に、以下のように触ってわかる凹凸の縦線（エンボス加工）を入れていきます。
 - ・「大」縦線3本
 - ・「小」縦線2本
 - ・「極小」縦線1本

※従来のごみ袋の在庫がなくなり次第順次販売を開始します。

※不燃ごみ用の指定袋もバイオマスプラスチックを使用したものに順次変更します。



○町民の皆様へお願いしたいこと

バイオマスプラスチックごみ袋の使用に加え、ご家庭でのごみを減らすことで、更なる温室効果ガスの削減に繋がります。ごみの正しい分別や食品ロス対策など、ごみの減量化の取組にご協力をお願いします。

島根県スポーツ推進委員研修会

第61回島根県スポーツ推進委員研修会兼第24回島根県女性スポーツ推進委員研修会が8月19日益田市民体育館で開催されました。

県内のスポーツ推進委員130名が一堂に会し研修と交流を深めました。

準備運動として、一般社団法人高津川てらす 代表理事 森下純さんが「フィットネスの要素を取り入れたストレッチ」をおこない、その後鳥取県発祥のニュースポーツ【バウンスボール】の実技体験研修をおこないました。

吉賀町スポーツ推進委員はこの他にも各種研修に参加し、地域スポーツの拡大発展に資する為、日々活動しています。


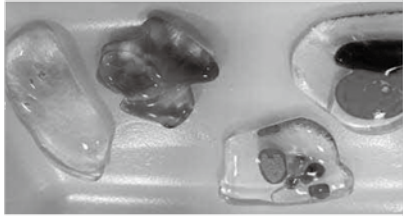


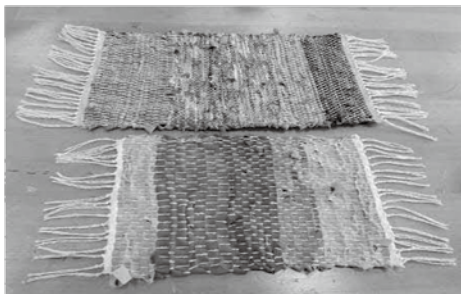




リサイクルプラザ工房

体験教室

募集!

2023年 10月 ~ 12月 予定

月日 / 時間	教室 事項	定員	工房 作品
10月 14日(土) 10月 21日(土) 10月 28日(土) (9:00 ~ 11:45)	<p>ガラスフュージョン (ガラスの破片を使用してペンダント、ブローチ、置物など)</p> <p>裂き織り、毛糸織り (古布、古毛糸を織り機を使ってテーブルセンターなど)</p> <p>いろいろなエコバック (傘布、カレンダーなど工房で用意しています)</p>	1名 5 7名	    
11月 11日(土) 11月 18日(土) 11月 25日(土) (9:00 ~ 11:45)			
12月 9日(土) 12月 16日(土) 12月 23日(土) (9:00 ~ 11:45)			
	<p>カレンダーバック</p>		<p>裂き織テーブルセンター</p>

ガラスフュージョン

お申込みお問い合わせは9月25日から承ります。※平日に視察、体験工房を希望される方は5名以上でお問い合わせください。



鹿足郡不燃物処理組合

〒699-5515

島根県鹿足郡吉賀町幸地 1319

TEL 77-1568 FAX 77-1601

◇ 小さなお子さんは上履きをご持参ください。

困ったら一人で悩まず行政相談(行政相談委員が開設する行政相談所のご案内)

行政相談では、国の役所等の仕事についての相談を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から必要なあせんを行い、その解決を促進するとともに、皆様の声を行政運営の改善に役立てています。

総務省では、この行政相談について、皆様に広く知っていただくとともに、その利用を促進するため、毎年10月に「行政相談週間」を設けています。

令和5年度の行政相談週間は、10月16日(月)から22日(日)までの一週間です。

また、総務省では、民間有識者(ボランティア)である行政相談委員を委嘱しています。

行政相談委員は、行政相談所を開設するなどして、住民の皆さんから国の行政などへの苦情や意見・要望を受け付け、その解決のための助言や関係機関に対する通知等を行っています。

吉賀町では、行政相談委員が、次のとおり行政相談所を開設します。

相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。

☆行政相談委員が10月に開設する行政相談所

日 時	場 所	行政相談委員
10月13日(金) 午前9時~正午	吉賀町福祉センター 会議室 (六日市 580-4)	谷 みどり 村本 静江

～開設日は毎月の町民カレンダーに掲載しています～



【行政相談に関するお問い合わせは】

総務省島根行政監視行政相談センター(きくみみ島根)

行政監視行政相談課 電話:0852-21-3630

大井谷棚田ライトアップ

棚田を染める幻想的灯火 2,800本の希望の灯

点灯期間 令和5年10月15日~11月25日(予定)

点灯時間 薄暮~4時間程度

600年続く棚田で幻想的な夜をライトアップ。

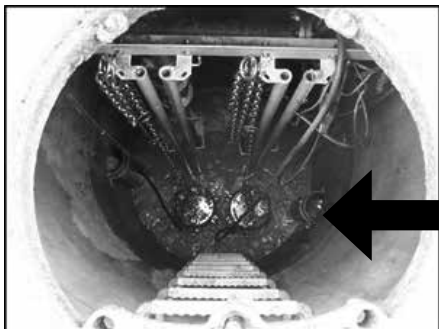
15分間隔で4色(赤・金・青緑・紫)に変化するライトが、風景をやさしく暖かく照らし出します。

主催 助はんどうの会(大井谷地区民棚田保全の会)
後援・協力 吉賀町 白谷自治会 棚田だんだん部

上下水道コラム

～下水道について～

吉賀町では六日市・七日市地区に下水道が、柿木・初見新田地区に農業集落排水処理施設が整備されています。各家庭で出る汚水は自然流下で流れていきます。自然流下ができない箇所では、マンホールの中にポンプを設置し、そのポンプによって吸い上げられて、再度自然流下で流れていきます。そうして集められた汚水は浄化センターや農業集落排水処理施設で処理されます。



ポンプが二台あります。
一つが故障しても、もう一つが稼働します。

マンホールポンプ内の写真です。

異物による故障

下水道・農業集落排水処理施設には本来流すべきではないものが流れてくることがあります。一例として、バスタオル・座薬の空容器・下着・ビニール袋などです。このようなものはマンホールポンプの故障の原因となります。

そのほかに、大量に流れてきた油が冷めて固まり、ポンプに絡んだことで汚水を吸えなくなった事例が何度か発生しています。汚水が吸えなくなると下水管の中を逆流し、家庭のトイレなどから汚水があふれることがあります。

そのため、下水道や農業集落排水処理施設に異物や大量の油を流さないようにしてください。油は市販の凝固剤などで固めて可燃ごみに出すようにしてください。

また、下記のようなことがありましたら吉賀町役場建設水道課 Tel (0856) 79-2212 までご連絡ください。

- ・マンホールから汚水があふれている
- ・マンホールから異臭がする。
- ・公共ますのふたが破損している など

冬季大腸がん検診の予約受付について

吉賀町では、大腸がんで亡くなる方の割合が国や県と比べて高く、かつ年々増加傾向にあり、大きな健康課題の一つとなっています。がんは、早期発見できれば、高い確率で治るようになってきました。早期発見するためには、定期的ながん検診の受診が大切です。

現在、冬季に実施予定の「大腸がん検診」の予約受付を行っています。今年度受診されていない方は、ぜひお申し込みください。

対 象：40歳以上の町民（年度内に大腸がん検診を受診済みの方、受診予定の方は除く）

検査方法：便潜血検査（2日法）

実施時期：11月下旬～12月初旬の予定

日程決定後、テロップ放送、申込者への個別通知等によりお知らせします。

料 金：無料

申込方法：保健福祉課（電話 77-1165）へお電話ください。

申込〆切日：10月31日（火）

9月10日～16日は自死予防週間です

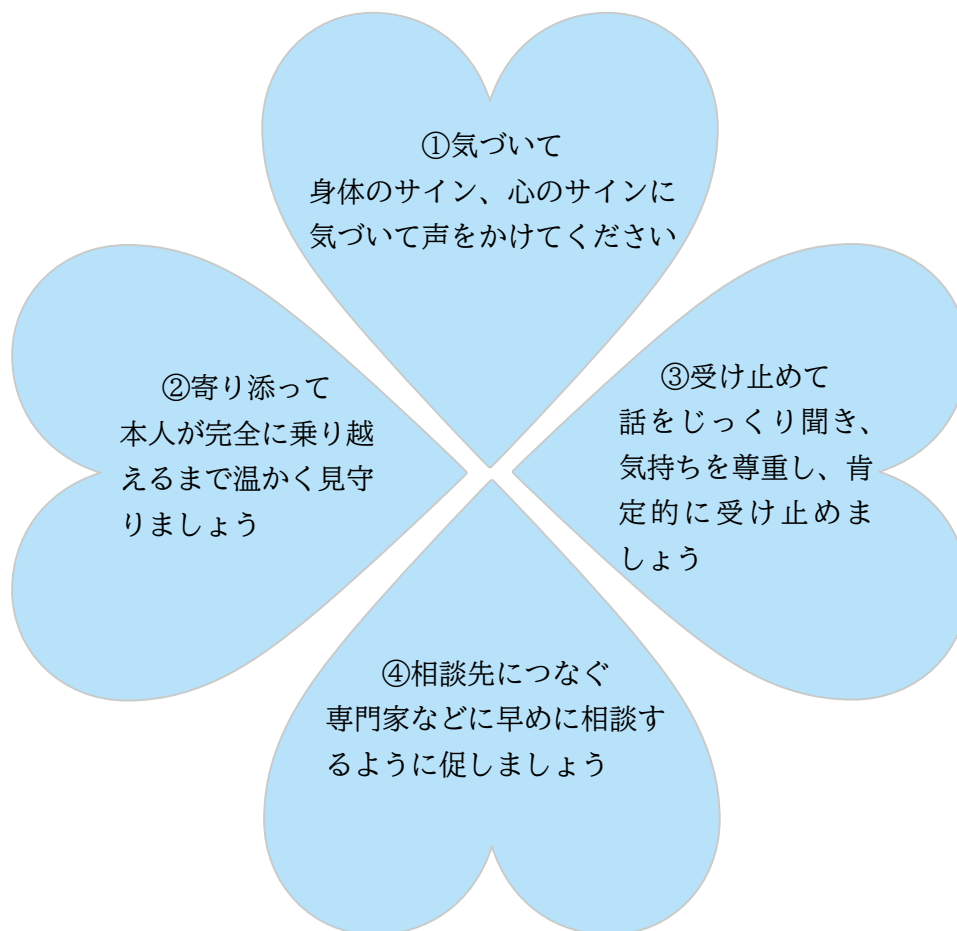
日本では年間2万人も尊い命が自死により失われています。

自死はその多くが追い込まれた末の死です。「死にたくない」という思いを抱えながらも、様々な悩みが原因で追い詰められ、「もう死ぬしかない」と視野が狭くなった状態で起こる死です。

「死にたい」と考えている人自身も、「生きたい」という本心との間で激しく揺れ動いており、自死に至る前に何らかのサインを発していることが多いと言われています。

(島根県では、自死と言う言葉を使っています)

身近な人のためにあなたができること・・・



こころの健康に関する身近な相談先は

吉賀町役場 保健福祉課 保健師

☎ 0856-77-1165 (月～金曜日 8:30～17:15)

益田保健所 健康増進課 保健師

☎ 0856-31-9545 (月～金曜日 8:30～17:15)

そのほかにも相談できる機関はたくさんあります。



食育コーナー 「私たちの健康は私たちの手で」 伝えたい ふるさとの味

四季折々の食材に恵まれた日本は、長い年月をかけて地域の伝統的な行事や作法と結びついた食文化を形成してきました。しかしながら、近年の少子高齢化や食のグローバル化が進む中で、地域に伝わる優れた伝統的な食文化の保護・継承が難しくなっています。

食生活改善推進協議会の活動の一つに地域の食文化を継承し、次の世代へ伝えていくこともおこなっています。

吉賀町食生活改善推進協議会では、この地域に伝わるふるさとの味をひとつの冊子にまとめています。

また、国の第4次食育推進計画では重点的に取り組む事項として「和食文化を伝えよう」とあり、地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切にして、次の世代への継承を図ることを推進しています。

10月といえば、祭りの季節です。祭りに欠かせないふるさとの味といえば…皆さん何が浮かんできますか？この地域で祭りに欠かせない料理といたら、「煮ごみ」に「角寿司」ではないでしょうか。今月は「角寿司」のレシピをご紹介します。

*材料と分量

材料	分量 (4人分のめやす)
米	300g (2合)
酢めし合わせ酢	酢40cc・砂糖20g (大さじ4)・塩4g (小さじ1.5)
(A) 干しいたけ	12g
ごぼう	20g
油揚げ	8g
(B) 具を煮る調味料	だし80cc・砂糖小さじ1.5しょうゆ小さじ1.5・みりん小さじ1
(C) 人参	30g (酢12cc・砂糖12g)
卵 (錦糸卵)	1個
魚でんぶ	少々
だし昆布	10cm位
むすび用手酢	合わせ酢適量

*作り方

- ①米を洗ってだし昆布を入れて、水を少なめにしてご飯を炊く。
- ②材料(A)をそれぞれ小さく刻んで(B)の調味料で煮しておく。
- ③人参も小さい短冊に切って、酢・砂糖の調味料で煎り煮する。
- ④酢めし用の合わせ酢を作っておく。
- ⑤ご飯が炊けたら熱いうちに合わせ酢と混ぜて、②の具を入れて混ぜ(C)の人参も入れて混ぜる。
- ⑥寿司の型に合わせて手につける酢でおにぎりを作って型にはめ、錦糸卵を少々の上押しぬく。
(型に手酢を時々つけてひっつかないようにする。)
- ⑦赤・緑のでんぶを少しずつ押しぬいた寿司に盛り付ける。

*アドバイス・こつ

具が多いと味はいいけど見た目はあまりよくなります。

型で抜く時はしっかり押しつけておいてぬくとくずれにくいです。

出来上がりに飾りを、木の芽・ゆずの皮など好みで。一人ずつ小皿に盛って出すと上品な仕上がりに。

*栄養量 (1人分)


エネルギー	359kcal	カルシウム	38mg
たんぱく質	8.3g	鉄	0.8mg
脂質	2.9g	塩分	3.0g

10 サンネットにちはら番組表

2023

※●1Hごとに放送 ◎2Hごとに放送 ▲3Hごとに放送 ★4Hごとに放送 [特] 特別番組
 [字] 耳が不自由な方や声が聞きとりにくい方にもわかりやすいよう文字を表示しています(隔時間)

月	火	水	木	金	土・日
30	31	体操の時間	受付時間	生中継	1
9:00 ◎文化講演会 [特] 9月10日(日)に開催の森鷗外記念館 館長 山崎一穎氏の講演会の模様を放送!	9:00 ▲島根県高等学校文化フェスティバル [特] 7月6・7日に浜田市石中央文化ホールで開催された島根県高等学校文化フェスティバルの模様をお届け!	月曜日～金曜日 6:00～9:00 15:00～17:00 体操番組を放送! テレビの前で体を動かしましょう	サンネットにちはら Tel 74-2099 Fax 74-2667 平日 8:30～17:15 (土・日・祝は閉庁) 緊急連絡先 セコムコントロールセンター Tel 0852-28-0016	島根県高等学校秋季野球大会 決勝 ◆10月1日(日) 9:50～ 松江市営野球場から島根県ケーブルテレビ協議会NW生中継!	6:00 ●ニュースサンネット [字] 9:50 島根県高等学校秋季野球大会 決勝【生中継 111CH】
2	3	4	5	6	7・8
9:00 ▲ニュース・サンネット 総集編【9月放送分】	9:00 ●気仙沼めつけ 9:15 ●フォト旅はままつ 9:30 ●荒磯館料理長の手軽に一品	9:00 ●あいラブせんりゅう 9:30 ●いい伊豆みつけた	9:00 ●わがと家の人々 9:15 ●アウトドアビギナーズ 9:30 ●藤岡大拙・大西友子の出雲弁よもやま話 9:45 ●サウナ道ノススメ	9:00 ●CATV情報ネット しまね 9:30 ●美肌県島根へ行く! 9:45 ●おくいずも新探訪～さらに「奥」へ～	6:00 ●ニュースサンネット [字] ニュース終了後 ●かのあし 安全安心だより
津和野町議会9月定例会一般質問 再放送【112CH】			県議会中継【112CH】		
9	10	11	12	13	14・15
9:00 ◎鷗外忌講演会 [特] 7月15日(土)に開催の岐阜大学名誉教授 林 正子 氏の講演会の模様を放送!	9:00 ●柿本人麿没後1300年! ひとなぞクイズ 9:30 ●釣りしんちやい!	9:00 ●出雲のほそ道 9:30 ●島大病院ちよっと 気になる健康講座	9:00 ●釣り天国! 石見 9:15 ●探偵社、ぶらり。 9:30 ●くわいだん-怪談- 9:45 ●とんと昔があつたげな	9:00 ◎星野由香のやさしい「ほぐピラ」 予約の取れないカリスマトレーナーとして知られる講師が考案した「ほぐす+ピラティス」を融合したメソッドを紹介 NHK文化センター制作番組	6:00 ●ニュースサンネット [字] ニュース終了後 ●よしかの里の昔話
吉賀町議会9月定例会一般質問 再放送【112CH】					
16	17	18	19	20	21・22
9:00 ◎サンネットにちはら杯モルック津和野大会ダイジェスト [特] 9月23日(土)に開催のサンネットにちはら杯モルック津和野大会のダイジェストを放送!	9:00 ●気仙沼めつけ 9:15 ●フォト旅はままつ 9:30 ●荒磯館料理長の手軽に一品	9:00 ●あいラブせんりゅう 9:30 ●いい伊豆みつけた	9:00 ●わがと家の人々 9:15 ●アウトドアビギナーズ 9:30 ●藤岡大拙・大西友子の出雲弁よもやま話 9:45 ●サウナ道ノススメ	9:00 ●CATV情報ネット しまね 9:30 ●美肌県島根へ行く! 9:45 ●おくいずも新探訪～さらに「奥」へ～	6:00 ●ニュースサンネット [字] ニュース終了後 ●よしかの里の昔話
23	24	25	26	27	28・29
9:00 ▲少年の主張 鹿足郡大会 [特] 8月31日(木)に柿木中学校で開催された少年の主張鹿足郡大会の模様をお届け!	9:00 ●柿本人麿没後1300年! ひとなぞクイズ 9:30 ●釣りしんちやい!	9:00 ●出雲のほそ道 9:30 ●島大病院ちよっと 気になる健康講座	9:00 ●釣り天国! 石見 9:15 ●探偵社、ぶらり。 9:30 ●くわいだん-怪談- 9:45 ●とんと昔があつたげな	9:00 ◎ココロとカラダを健康にする睡眠 よい眠りを得るための目からウロコの睡眠知識そして今すぐできる改善方法を睡眠のスペシャリストが伝授します! NHK文化センター制作番組	6:00 ●ニュースサンネット [字]

議会中継日程	特別番組	サンネット LINE 公式アカウント
津和野町9月議会再放送 10月2日～4日【112CH】 吉賀町9月議会再放送 10月9日～11日【112CH】	鷗外忌講演会 【10月9日放送】 7月15日(土)に開催の岐阜大学名誉教授 林 正子 氏の講演会の模様を放送! 文化講演会 【10月30日放送】 9月10日(日)に開催の森鷗外記念館 館長 山崎一穎氏の講演会の模様を放送!	 番組情報などお届けします! ぜひ友達登録をお願いします!

※編成の都合上、番組・内容が変更になる場合があります あらかじめご了承ください ※変更の際は111chのデータ放送等でお知らせします

吉賀町立図書館

【夏休み読書感想文教室について】

7月26日から夏休みの児童を対象とした読書感想文教室を行いました。参加した子どもたちは、初めて感想文を書く人もいましたが、みなさん楽しみながら本選びをして取り組んでいました。

感想文を書くための読書では、段々と本から離れていくかもしれません。それはとても残念なことです。いろんな本の魅力を知ってもらい、これからも読書は楽しいと思ってもらうことが、大切ではないでしょうか。もうすぐ秋の読書週間が始まります。今回の標語は「私のペースでしおりは進む」です。楽しい本探しにどうぞご来館下さい。

【セカンド・ブック・フェアについて】

10月21日(土)～10月31日(火)まで、恒例のセカンド・ブック・フェアを開催いたします。

町内の保育所園児のみなさんが描いた感想画の展示、ご寄贈いただいた図書や図書館の一年分の雑誌などを並べた古本市を行います。ご家庭で読まれなくなった本がありましたらご寄贈ください。ただし、雑誌、事典、全集などはお断りしています。その他、ご不明なことは図書館までお尋ねください。

また、11月5日(日) きん祭みん祭農業文化祭(六日市会場)にて保育園児の感想画を展示する予定です。どうぞ皆様、ご覧ください。

【島根県立図書館の図書について】

先月末に島根県立図書館の図書を交換いたしました。一般図書は文学、児童図書は絵本と文学などです。新しい本もありますので、読んでみてください。

《ベスト・リーダー！8月》

書名	著者	著者
「獣の夜」	森 絵都	著
「つくりたくなる日々レシピ」	長谷川あかり	著
「うるうの朝顔」	水庭 れん	著
「夜果つるところ」	恩田 陸	著
「図書館のお夜食」	原田 ひ香	著

【図書館の休館日と返却ポスト】
 ・毎月曜日と祝日。
 ・図書返却ポスト
 吉賀町内各公民館前に設置

《図書館利用状況8月》

●貸出総数	2666冊
●貸出人数	466人
●来館者数	649人

柿木『図書だより』

開館 9:00～16:00 (平日)
 *毎月曜日と祝日が休館日です
 *第2、4の土日は9:00～16:00
 電話 79-2553
 島根県鹿足郡吉賀町柿木 79

今月の本の紹介

日本史はこんなに面白い	半藤一利
あいつゲイだって	松岡宗嗣
自立クライシス	金子由美子
POPな遺伝子	大石正道
認知症対策の新常識	鈴木宏幸
認知症予防は絵手紙で	結城俊也
日本語へんてこてん	あんの秀子
青猫の街	涼元悠一
まりも日記	真梨幸子
ふたりみち	山本幸久
小さき者へ	重松 清
暗幕のゲルニカ	原田マハ
徳男	川村元氣
ボクって邪魔なの？	吉永みち子
裏庭	梨木香歩

図書室だより

10月は、「神無月」と呼ばれています。旧暦の10月は、日本中の八百万の神様が島根県の出雲大社に集結！神様たちは出雲大社に出かけて、留守になってしまったため「神無月」と呼ばれるようになったとか。出雲地方では神様たちが集まっている月になるから「神在月」と呼ばれます。

出雲大社に祭られているのは「いなばの白うさぎ」で有名な大國主大神。大國主大神は、自分の子どもたちを日本中に配置し各地域をまかせています。はじめはその子どもたちだけが集まっていたのですが、のちにそれ以外の神様も来るようになったそう。つまり、出雲大社には、日本中のあらゆる神々が集まるのです。神様たちが集まったの会議。議題はいつたいいんでしょう？興味深いですね。

町長コラム

Vol. 67

吉賀町長
岩本一巳みんなが集う
「六公カフェ」

今回は、六日市公民館で取組んでいる「六公カフェ」について紹介します。当公民館では、かねてより地域の皆さんが気軽に話したり、子供達も自由に使える居場所を作りたいとの思いがありました。でも、なかなか公民館だけの力では難しいことから、「せっかく作るのなら、地域のみんなで作ろう！」となり、大工さんに指導して頂いて、バーカウンター、本棚、椅子などを製作して「六公カフェ」を完成させました。お茶でも飲みながら誰でもくつろげるスペースになることを目指して、色合いやレイアウトを決め、愛称を「六公カフェ」とし、六日市基

幹集落センター階ロビーで様々な活動を展開されています。

これまでの活動としては、学童保育や小学校全学年を対象に様々なことを絵で表現する「ペイントアート」、小学校高学年が自らの手で木材を組み立てていく「DIY体験教室」、地域の大人と保育所年長児とが交流する「ゆるり広場」などがあります。

そして、今回初めての企画として去る7月27日（木）「コッペパンでカフェ」を開催されました。この催しは、小学校5・6年生がNPO法人よしかの里とコラボして、オリジナルコッペパンを考案し、当日限りの限定メニューとして一緒に販売したものです。私も



【バーカウンターでの飲物提供の様子】

「六公カフェ」で行われるこのイベントを是非拝見したいと思い、足を運んでみました。参加した児童は、よしかの里利用者やスタッフの皆さんの指導を受けながら、手際よく接客しておられました。今後も「六公カフェ」を一つの起爆剤として、地域の大人と子供達と一緒に活動することで、世代間交流の輪が広がっていくことを期待しています。

現在、町内各公民館では、それぞれ独自の活動を精力的に展開されています。このことは、公民館主事2人体制にした効果ではないかと思えます。地域住民の活動拠点として、無限の可能性を秘めている公民館を皆さんで盛り上げていきましょう。



【来場の方々との歓談】

吉賀町サッカー連盟主催 盆サッカー

8月13日（日）真田グラウンド“よしかみらい”にて吉賀町サッカー連盟主催「盆サッカー」が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりましたが、子供から大人までサッカー愛好者が参加し汗を流しました。

帰省している方や地元の方、たくさんのサッカー愛好者と、世代を超えた楽しい交流を図ることが出来た貴重な時間となりました。

参加者の皆さん、ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



JAカップ第40回島根県学童軟式野球選手権大会 ～ 第3位 七日市スポーツ少年団 ～

8月19日と20日に、松江市営野球場で開催された、JAカップ第40回島根県学童軟式野球選手権大会に益田・鹿足地区代表として七日市スポーツ少年団が出場しました。

「振るスイング、この1球を仕留めろ」をチームスローガンに、雲南市、出雲市を勝ち抜いたチーム相手に力強い攻撃で挑みました。準決勝で敗れはしたものの、両試合で相手を上回る安打を打ち、持ち味を十分に発揮し見事3位の好成績を収めました。

* 1回戦

チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
七日市スポーツ少年団 (益田・鹿足地区代表)	0	0	0	0	2	3	5
佐世野球スポーツ少年団 (雲南地区代表)	2	1	0	0	0	0	3

(七日市) 和崎悠、松原一岡山

(佐世) 石原瑛、永井一稲田一、石原瑛

3塁打 石原瑛(佐世)

2塁打 岡山2、澄川(七日市)、田中蓮(佐世)

* 準決勝

チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
七日市スポーツ少年団 (益田・鹿足地区代表)	0	1	0	0	1	0	2
高松野球スポーツ少年団 (出雲地区代表)	0	2	2	2	0	×	6

(七日市) 松原、和崎悠、遠藤一岡山

(高松) 亀山、原一荒瀬

2塁打 小田、増本(七日市)

団員は随時募集していますので、いつでも見学・体験にお越しください。

今後とも皆様の応援をよろしくお願いいたします。



左：増本那音主将
右：澄川煌英副主将

吉賀町出身 海津あおいさん活動報告

吉賀町出身、高川学園高校(山口県)3年の海津あおいです。

6月3日の県総体で優勝し、インターハイ出場が決まりました。

8月の北海道インターハイでは、3回戦で鹿児島に惜敗でしたが、みなさん地元よりたくさんのご声援ありがとうございました。

8月19～20日、山口県で中国ブロックのミニ国体が開催され優勝し、10月8日から11日まで鹿児島県で開催される国体少年男子バレーボール大会の出場が決まりました。山口県の代表ではありますが、島根県の地元の皆さんの応援を励みに少しでも活躍できるよう頑張ります。

余談ですが、昨年末大晦日に2泊帰省して以来半年ぶりの帰省(テスト期間)がありましたので、6月30日地元の男子バレー部のお手伝いと、出身チーム(吉賀 JVC)に少しだけ顔を出すことが出来ました。地元で少ないながらも大会に向け頑張っている後輩を見て自分も初心に戻り、また力をもらえた気がしています。ありがとうございました。



《寄稿》

空飛ぶ車、ドローン、交通整理は誰が？

竹中 和博

先日來、各メディアが挙って取り上げている空飛ぶ車や宅配ドローンの映像を見て大変危険なものだと感じていた所です。

空飛ぶ車に試乗した人達は、「快適ですばらしい！」と言う。各企業等のCG映像を見る限りでは、各飛行体同志がぶつかる事なく飛んでいます。しかし、現実の場面では、あのCGの様な光景となるとはとても思えません。

現在の地面での交通網であれば、信号機、道路標識、標示で、又は警察の取り締り等で互いに、安全な走行が出来ているのだと思います。鳥や虫、空を飛ぶ事の出来る生物は、それぞれ超高度なセンサーを持っていて、お互いがぶつかる事はありませんが、人間の作ったものはあのように、人間の作ったものはあのように、や虫のような衝突回避の術は見に付けていません。

便利になる、快適になる、大変すばらしい事ですが、しかし安全性は

どの様に確保するのか、責任は誰がとる？、国も企業も充分に、しっかりと議論し、知恵を出し合って進めて行ってもらいたいと思えますが今は、そうした付きつめた話し合いが出来ているとは考えられない状況だと思う。安全第一で考え、迅速で心地よい空のネットワークが確立される事、安全と利便性は、いつも同時進行でと願うばかりです

《寄稿》

郷里回想録八

橋本 雅夫

自然連鎖天空生態系の頂点に君臨する猛禽類大鷹は、昭和二十年代までは比較的多く生息したが、しかし、農林業の近代化や各種の開発を含め、山野への農薬の普及散布、又、里山及び芝刈り山の減少等により、今は特別絶滅危惧種に指定され保護されている。

同昭和十年代郷里の古老様が一羽の大鷹を毘で捕獲し、前部を割竹で格子状に編んだ飼育小屋で飼っていた。この鷹は、眼光、くちばし共に

鋭く、棒の先に生肉を付けて差し出すと「パカッパカッ」と食べていた。両足の爪は大型斤量の物掛けの如く一段と鋭い。

ある時、野犬がこの大鷹の前に現れた。すると、二尺五寸以上ある両羽根を横に大きく広げて、片足を胸のところ大きく張って構えた。是を見た野犬はたじろぎ竦んだと伝ふ。近辺の人々たちからの口コミで世間に広く知られ、ある日突然下関市から訪れた商人は、此の大鷹を見るなり「是非譲ってほしい」の旨を告げる。商談の上、当時としては相当高価な値段で取り引きされた。

以前は、自然開発と保護の難しさが全国各地で論じられたが、世も移り変わり、廃屋を見るが如く、山野も著しく荒廃が感じられる現世となった。

今後の猛禽類の生息環境が大いに懸念されるものである。

《寄稿》

ぬり絵

田村 民子

ぬり絵は脳を活性化させる。歳を取ると脳は衰える、ということですが、歳をとる程伸びて行く脳力もあるのだそうです。知恵や知識や経験は、年令を取る程、蓄積されマネジメント能力は経験、実績で伸びるということを私は信じ、寮内の贅沢させている間考えました。テレビ、漫画、本を見ても英語の意味が分からず、辞書を手離さず、脳の衰えと思われるが、脳は幾つになっても成長すると言われています。しかし、頑張ってみるが捗ることになりません。ワーキングメモリ(心の)作業記憶を鍛えることで、脳力を伸ばすことができるというけれど、運動の多い人は、アルツハイマー病になりにくいなど積極的に人と関わることを言います。

ぬり絵は識別を司る後頭葉を活性化させ、ぬり絵に伴う作業体のコントロールを司る小脳、そして前頭葉などに広がる脳の系統を鍛えるという事です。

《川柳》

途中下車並ぶ家並みなつかしい

岩上 武史

炎天下並ぶ球児の甲子園

石村 菊夫

ひまわりの並んだ花が西東

水上 健二

一年生きちんと並んで仲の良さ

安永 藤子

スコールで傘が並ぶやマレーシア

田村 民子

電線に並んだカラス見なくなり

大庭 和子

今もって悩んで並べる消毒液

池下 邦枝

並べて干したいも猿に皆やられ

橋本 雅夫

失敗に言い訳並べて見苦しい

寺戸美瑛子

暑い中並んだ姿見て帰る

澤 三智代

行列の先を知らずにとりあえず

折口 沙羅

現実には季節はずれの衣替え

村上 毅

《俳句》

ひもじきも懐しかりし終戦日

齋藤ツル子

緑蔭や御朱印受くと待つ少女

三浦 一美

高天井にトンボ一匹羽ばたける

河野 由希

校庭の緑蔭に立つ母若し

山崎美智子

撫で叩き西瓜畑の賑々し

茅原 久子

Tシャツ赤太鼓の子らの夏祭り

村田 綾美

覚えなき打ち身の痕や夜の秋

青木 道子

甲子園熱戦に水さす通り雨

村上 毅

《短歌》

幾星霜巡りてここに在りしかと

石に問いつつ河原を歩む

長峯 辰雄

バス停に子供らの影絵空事

無人のバスの通り過ぎゆく

病める身となりて心の萎ゆる時

家族のあるを幸せに思ふ

村上 勝史

《短歌》

いつの日か長女と共に暮らせるか

一人住まいの長女を案じる

田村 民子

山高く狭きこの里ひまわりと

皆の笑顔で幸に生きる

齋藤みどり

出生くすこやかに (8月届出)

永安 穰 (ジヨウ) さん

誠・祥子さんの子 柿木

お悔みやすらかに (8月届出)

森藤 美千子 さん 74歳 立河内

板垣 好子 さん 87歳 下須

森川 房市 さん 88歳 幸地

山元 博 さん 85歳 沢田

木戸 幹之 さん 88歳 七日市

長藤 忠夫 さん 101歳 蔵木

大庭 多美恵 さん 89歳 樋口

三家本愉偉子 さん 75歳 田野原

俵 ハルノ さん 97歳 抜月

松前 房子 さん 86歳 六日市

同意が得られた方のみ記載しています。

寄稿・文芸コーナー

応募方法とお知らせ

●毎月1日までに企画課へ提出してください。

●寄稿の場合は五〇〇字以内としてください。

●楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。

●応募作品は基本的に原文のまま記載しますが原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。

●作品の内容によっては掲載しない場合があります。

●応募多数の場合等は掲載しない場合があります。

●原稿はお返ししません。

●掲載希望のコーナー名を記載ください。

●掲載の有無は連絡いたしません。

※応募された方は右記を了承いただいた事とさせていただきます。

グラントワ
 Grand Toit

島根県芸術文化センター
 SHIMANE ARTS CENTER
 石見美術館
 IWAMI ART MUSEUM
 いわみ芸術劇場
 IWAMI ARTS THEATER

掲載されている内容は、2023年9月4日時点の情報です。
 最新の情報は、グラントワホームページをご覧ください。

問合せ 電話 698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」
 TEL: 0856-31-1860 FAX: 0856-31-1884
 E-mail: zaidan@grandtoit.jp https://www.grandtoit.jp

Facebook
 更新中!



企画展
建築家・内藤廣

NAITO HIROSHI

BuiltとUnbuilt

戦い 果てしなき
 青鬼の 赤鬼と

2023
 9/16(土) → 12/4(月)

【開館時間】9:30-18:00 (展示室への入場は17:30まで) 【休館日】毎週火曜日

【観覧料】当日券(企画展のみ) / 一般:1,200円、大学生:600円、小中高生:300円 前売券 / 企画・コレクション展セット 1,000円

関連プログラム

グラントワスタッフによる建築案内

◎10月7日(土) ◎11月12日(日)

いずれも14:00~15:00

集合場所: 講義室

事前申込制(定員各回30名) / 無料

(ただし企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要)

メールにて希望日、氏名、電話番号、参加人数をお知らせください。

申込専用アドレス

naito-g@cul-shimane.jp



島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

グラントワ開館18周年感謝祭

みんなのステージ

2023

10/8 SUN 10:00 START

会場 グラントワ・マスコット
 キョウコウ・ゴロウちゃん
 島根県芸術文化センター
 「グラントワ」
 入場無料(一部有料) 雨天決行

音楽を楽しめるステージや「ものづくり」「遊び」「体験コーナー」ほかこの日ならではのラインナップで全館まるごとイベント盛りだくさん!

石見美術館終日無料開放

企画展
 「建築家・内藤廣 / BuiltとUnbuilt
 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」

島根県芸術文化センター「グラントワ」(模型) 2005年

いわみ芸術劇場大ホール無料映画上映

『映画かいけつゾロリ
 ラララスターたんじょう』

【時間】1回目 10:30~ / 2回目 14:00~

©2022 原ゆたか / ポプラ社, 映画かいけつゾロリ製作委員会

(開場各20分前)

文化芸術の秋、
 グラントワに遊びにきんさい!

詳しい内容はこちら



美味しいものが勢揃い! 【時間】10:00~15:00 ※売り切れ次第終了
きんさい食堂 【会場】中庭広場ほか

持石「海陽王国」/キムチ工房はら/CINQUE/もちのおたふく
 千両まんじゅう / zui coffee / 山牛 / アートスイーツ★Fu
 Jazz & cafe マルフク / レストランポニー

ワークショップ(WS) / 販売 / 遊び / 体験コーナー

「各出店の内容、時間、料金等、詳しくはグラントワHPをご覧ください」
 d plants S / BLUE SKY / 益田人権擁護委員協議会 / 益田おやこ劇場
 手作り市場 / Blue Rose / 文華堂 / グラントワボランティア会イベントG
 石州瓦工業組合 / 島根県立美術館

音楽を楽しもう! Have Fun with Live Music!

階段 de 【出演】グラントワ・ユース・コール (12:00~)
 ミニコンサート グラントワ合唱団 (12:30~)
 【会場】大ホールホワイエ C扉前階段

鳴らしてみよう 【指導】島根邦楽集団
 KOTO・こと・箏 【会場】小ホールホワイエ (午前/午後あり)

先着500名様限定 有料会員限定割引あります!(空くじなし)

今福座和太鼓公演

出演 今福座
 特別ゲスト 木村俊介、
 太鼓ユニット我龍一garyu-
 共演 道川神楽社中 / 匹見 Jr.
 匹見太鼓喜楽組 / カブト / 結ほか

2023.10.1日
 グラントワ 大ホール
 開場13:15 開演14:00

【全席自由・税込】
 一般 2,000円 / 小中高生 1,500円 / 未就学児無料(要無料券)
 ※当日各500円増し ※未就学児無料券はグラントワのみ取扱い
 ※無料託児サービスあり(9/24(日)までに電話申込)

益田おやこ劇場連携

オズの魔法使い

2023年
 10月21日(土)
 12:30開場 / 13:00開演

料金
 一般2,500円 / 高校生以下1,500円
 「グラントワ」小ホール
 ※当日各500円増 ※3歳以下の膝上鑑賞無料

いつでもどこでも音楽祭

池田 怜士 コンサート

秋に贈るピアノの調べ —
 情熱と哀愁のスペイン、イベロアメリカ

2023 10月 29日
 鑑賞無料

益田市出身のピアニスト・池田怜士さんによる、
 エネルギーあふれる演奏をお楽しみください。
 開場 14:00 / 開演 14:30 (終演 15:10 ごろ)
 会場 | 大ホールホワイエ
 申込不要 / 全席自由(先着順) ※満席の場合は立ち見あり

吉賀町ホームページアドレス
 https://www.town.yoshika.lg.jp
 吉賀町メールアドレス
 info@kn.town.yoshika.lg.jp

編集・発行 吉賀町役場企画課
 〒699-5513
 島根県鹿足郡吉賀町六日市750番地
 電話 0856-77-1437 FAX 0856-77-1891